

応急手当

水の事故防止

(家の中)

好奇心と行動力のかたまりであるこどもの事故は、周囲の大人が気を配って、予防する以外に方法はありません。こどもは体にくらべて頭が大きく、力も弱いので、バケツなどに頭から落ち込むと自分ではなかなか起きあがれません。コップ一杯(鼻と口をおおうだけ)の水があれば、いつでもどこでも事故は起こりうるのです。こどもの身になって家の中をみなおす必要があります。

- ・残り水のはいつている浴槽
- ・使用中の洗濯機
- ・洗面所、トイレ
- ・水のはいつているバケツやたらい
- ・遊んだあとのビニールプール
- ・庭の池



(家の周囲)

家の周囲にも危険なところがたくさんあります。こどもたちは危険な場所ほど興味をひかれるもので、危険かどうかの判断ができません。こどもの成長・発達に先まわりをして、周囲の整備に心がけましょう。実際に現場をみせて指導しておくのも事故を防ぐひとつの方法です。

- ・ふたのないマンホールや下水道
- ・使われていない井戸
- ・砂利や砂をとったあとの水たまり
- ・側溝
- ・工事現場
- ・さくや囲いのない池や湖
- ・ランカンが低い橋
- ・ため池や用水路

